

# ワイズ - スペンディングモデルの積み重ねによる真のPDCA構築を目指す

～ 飯田市の取組を事例に ～

2016年3月30日

飯田市長 牧野光朗

# PDCAの現状

右肩下がり



Plan



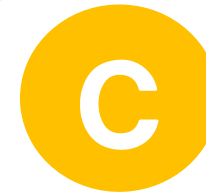
予算獲得のための計画にほとんどのエネルギーが費やされる



Do



計画に従って実行するだけで、地方の工夫を十分引き出せずにいる



Check



Action



地方の工夫を引き出すチェック機能が働いていないため、見直しが効果的に行われていない

# 事例：LED防犯灯開発プロジェクト

## 平成20年度：環境モデル都市に選定

- ・第一次環境モデル都市行動計画に、LED防犯灯推進を盛り込む



## 平成21年度：環境共生地域づくり補助金（環境省：補助率10/10）

国

目的：低炭素化  
事業：LED防犯灯設置  
補助金：84,500千円  
（想定台数1,400基）

飯田市の工夫

- ・市全体の防犯灯は6,000基なので、国の補助金で市販の防犯灯を購入したのでは不十分。
- ・地元企業による製品開発で、もっと安くて良い製品が開発できないか、地元企業に打診

（公財）南信州・飯田産業センター  
（NESUC-IIDA）

- ・地元企業18社が製品開発への参加を表明
- ・2グループに分けて製品開発体制を構築



市からの打診内容  
仕様

（1）照度：20W蛍光灯並

（2）消費電力：蛍光灯の70%以下（CO2削減）

（3）形態：LED素子器具一体型（直管型不可）

納期 10月から出荷、年度内に 3,000 台 設置完了

保証 5年以上

価格 設置費用を含め 28,000円/台

（設置費用 10,000 円/台の見込）

地元企業への発注を  
実現